



おだわら



みんなんで走ろう！明るい未来へ

後期基本計画策定に向けて

まちづくりに参加を

小田原は今、新しい世紀二十世紀に向けて、市民のみなさんの参加を得て、昭和六十二年に策定した「おだわら21世紀プラン」に基づいてまちづくりをすすめてきています。その計画の前部分が、平成四年に計画期間を満了します。市では引き続き後期の計画を定めるための準備を進めています。そこで、前期の計画に引き続き、後期の計画も、広く市民参加の中でつづけていきます。また、前期の計画に引き続き、後期の計画も、広く市民参加の中でつづけていきます。

あなたのアイデアを

小田原は、我が国でも気候・地理的条件から居住環境もすばらしいと、わが国でも数少ないとあって、しかも豊かな自然と長い歴史に培われた文化を有し、さらに交通の拠点であるとして、都市形成上の有利な条件に恵まれているのです。この有利な条件を十分に生かすには、まちづくりを進め、次代に継承していくことが必要です。このためには、市民のみなさんのアイデアを、積極的に募集し、後期の計画に反映させていくことが必要です。そこで、後期の計画に引き続き、市民のみなさんのアイデアを、積極的に募集し、後期の計画に反映させていくことが必要です。

おだわら21世紀プラン

市民集会開催日程

回	開催日	会場
1	10月8日(火)	泉中学校屋内運動場
2	10月9日(水)	国府津公民館
3	10月11日(金)	中央公民館下府中分館
4	10月14日(月)	根府川公民館
5	10月15日(火)	中央公民館豊川分館
6	10月16日(水)	中央公民館上府中分館
7	10月17日(木)	中央公民館下曾我分館
8	10月18日(金)	早川公民館
9	10月21日(月)	下中小学校屋内運動場
10	10月24日(木)	中央公民館曾我分館
11	10月25日(金)	桜井小学校屋内運動場
12	10月28日(月)	板橋公民館
13	10月29日(火)	小田原市役所大会議室
14	10月30日(水)	中央公民館曾我分館
15	10月31日(木)	小田原市民会館第7会議室

回	開催日	会場
16	11月5日(火)	橋中学校屋内運動場
17	11月13日(水)	尊徳記念館講堂
18	11月15日(金)	中央公民館上府中分館
19	11月19日(火)	国府津公民館
20	11月20日(水)	小田原市民会館第7会議室
21	11月26日(火)	小田原市役所大会議室

*時間は、各回とも午後7時から9時までです。

地域において、市民集会を開催します。

本計画(昭和六十二年度)は平成四年(昭和六十九年度)に基本計画に移され、前回のまちづくりは大きく前進してきました。しかし、二十世紀を目前にした現在、環境保護政策をはじめ、高齢化、国際化、情報化等の社会の流れが一段と進み、市民のみなさん一人ひとりの考え方も変化が大きく、本市を取り巻く環境が大きく変わってきています。

後期基本計画策定にあたっては、このような社会の流れに的確に対応していくことが求められており、それには市民のみなさんの参加が不可欠です。二十世紀に向けては、小田原のまちづくりとはどうあるべきか、市民のみなさんの意見・ご提案をお聞かせください。また、市民のみなさんの意見・ご提案をお聞かせください。また、市民のみなさんの意見・ご提案をお聞かせください。

おだわら21世紀プラン」とは…

本計画のあゆみ

「おだわら21世紀プラン」の前期基本計画は、策定されてから五年が経過しましたが、市民のみならず、ご協力をお願いいたした各計画に順調に実施に移され、この計画に基づいた小田原のまちづくりは、これまでに着実に進展してきました。

ここでは、前期基本計画に基づいて、現在まで完了した

前期基本計画の重点事業

前期基本計画(昭和61年度～平成4年度)においては、まちづくり実現のため、前述の五つの基本的指針に沿った重点事業として、「6大プロジェクト」を位置付けています。

このプロジェクトは、基本計画の策定項目を履き出した事業であり、同時に関連事業の中核ともなりますので、この事業を推進することにより、諸事業への波及効果が予測されます。

また、市民と行政が一体となって、協働のまちづくりを進めていくために、3基金と、4大イベントを設けています。

総合計画の構成と役割

「おだわら21世紀プラン」は、小田原のまちづくりを定めるための総合的な計画です。

経済、社会、環境、文化等、市民生活のさまざまな分野の施策をまとめたもので、市民との協働により策定された。本市の市政運営の指針です。

また、この計画は、西暦二〇〇〇年(平成十一年)を目ざす大方向とした基本構想と、昭和六十六年から七十五年までの二十年間の中期基本構想と、昭和六十六年からの五か年を定めた前期・後期の基本計画として、財政的裏付けを持った四か年の具体的な計画として、「実施計画」の二層によって構成されています。

将来都市像

「おだわら21世紀プラン」は、国や県の総合計画と整合性を図りながら、「高齢社会到来」「国際交流の拡大」「高度情報化の進展」「女性の社会参加の増大」「文化的意欲の高まり」などの時代に対応して策定されており、市民の暮らしと文化の知恵とエネルギーを集めて、過去、現在と続いた小田原市の上よりも、未来を実現するためのものです。

その基本構想は、小田原市の将来都市像を「歴史と文化の香る都市」と定めています。

4つの柱

さらに、将来都市像実現のため、次の4つの大きな柱をまちづくりの目ざしとしています。

- 1 人間のまち(小田原の再生)
- 2 文化のまち(小田原の再興)
- 3 活力のまち(小田原の再建)
- 4 施策推進の体制づくり

基本的指針

また、このまちづくりに向かっての施策を推進するため、本市の恵まれた三つの都市条件、すなわち、

- ① 自然的・風土的条件
- ② 歴史的・文化的条件
- ③ 地理的・交通的条件
- ④ 経済的に豊かなまちへの活性化と発展

を目標として、そして、この



保健センター



クリートトイレ整備



二の丸中庭住吉橋

6大プロジェクト

- 1 レクリエーションゾーンの形成
- 2 辻植物公園の開成
- 3 いこの森の整備
- 4 フラワーアナーズの建設
- 5 小田原城跡の整備
- 6 小田原城跡九二の丸の整備

- 1 都府県単線の建設促進
- 2 公園地の整備
- 3 緑地・森林地の事業化
- 4 羽根地区区画計画

3基金・4大イベント

- 1 3基金
 - ・自然保護の緑化、そして、都市美づくりのための「ふるさとみどり基金」
 - ・石見山一帯歴史公園の整備
 - ・心の文化の継承と新しい、歴史文化の継承と新しい基金
- 2 4大イベント
 - ・市民としての共通意識を基盤に、市内外にも宣伝効果の高い、本市の個性が発揮される新しい行事を4大イベントとして設定し、今年度の「国際交流祭」をもってスタートします。
 - ・尊厳生涯百年祭開催(昭和62年・63年2回開催)
 - ・おだわら小田原まつりの開催(平成2年・3年に実施)
 - ・市制施行五十周年記念イベント(平成2年・3年に実施)
 - ・小田原倉庫四百年記念イベント(平成2年・3年に実施)
 - ・国際交流祭(平成3年に実施)

人間のまち

文化のまち

活力のまち

施策推進の体制づくり



辻植物公園



梅の里センター完成予想図



関東学院大学



歴史的町名保存



二の丸中庭住吉橋

後期基本計画の策定に向けて



後期基本計画策定のねらい

後期基本計画の策定にあたっては、前述したように二十一世紀への大きな時代潮流である六つの社会環境の変化に対応し、まちづくりの展開についてを念頭に、その基本認識として下記のよりに「文化」というものを基盤に「環境」「生活」「広域」創造という四つの切り口から、具体的に施策を検討していくための八つの方向（施策検討の方向）というものを考えています。

この八つの方向に沿った計画を、今度の計画づくりの重点としていきたいと思いますので、そういった視点からの意見、ご提案を期待しています。

歴史と文化の香る都市の実現

基本認識

- 1 **環境文化都市**
*「歴史と文化の香る都市」にふさわしいアーカイブの高いまちづくり
- 2 **生活文化都市**
*豊かな多様な市民生活を実現する
*安心・安全・快適なまちづくり
- 3 **広域文化都市**
*自立する小田原都市圏の
*「自立した小田原都市圏の中核都市」としてのまちづくり
- 4 **創造文化都市**
*「創造文化都市」を創出した
*小田原の個性を生かした創造の時代
にふさわしいまちづくり

施策検討の方向

- 1 美しく快適な都市環境の創造
- 2 小田原文化の醸成
- 3 うるおいと活力ある地域社会の形成
- 4 災害に強い安全なまちづくり
- 5 都市機能の高度化
- 6 新たな産業政策の推進
- 7 人生100年型社会に対応したまちづくり
- 8 交流ネットワーク機能の充実

時代の変化への対応

昭和六十一年に策定された「おだわら21世紀プラン」では、「二十一世紀へ向かう時代潮流を」「高齢社会の到来」「国際交流の拡大」「高度情報化の進展」「女性の社会参加の拡大」「文化的意識の高まり」の五つと「二十一世紀のまちづくり」の方向性を示し、これらに本町及び周辺市町村とあわせて課題を展望しています。

これらについては、今後も引き続き十分に意識持ちながら、時代の変化に適切に対応することが必要で、九十年代を展望すると、おだわら市においては、さまざまな課題があらわれ、また、具体化していきます。

90年代の主要課題

ここでは、歴史と文化の香る都市の実現を目指すべく、より一層の発展を期すために取り組むにあたり、最近の社会経済情勢の変化のうち、本町に影響を及ぼす主要な課題は何か、またそれを解決するために必要となる施策が必要なのかを考慮した上で、大きな時代の流れを六つに整理してみました。

世界的な相互依存関係の高まり
いわゆるグローバル化とい

地球規模の環境問題

この進展により、世界平和への地域からの貢献や、世界平和から地域社会づくりが必要となつてい

産業構造の国の変化

産業の高度化・高付加価値化ソフト化・サービス化、ネットワー化による、いわゆる先進

人々の価値観の変化

経済活動の発展を映して、人々のライフスタイルが大きく変化していることから、小田原

出生の低下と高齢化の進展

多くの人が人生80年を生きる時代を迎え、老年人口が増加する

東京一極集中の勢が強い流れ

東京一極集中の勢が強くなり、地価の高騰、住宅・通勤等の居住環境、都市環境の悪化など、



おだわらくらしのテレフォンガイド



フラワーガーデン完成予想図



石垣山一夜城歴史公園

歴史と文化の香る都市の実現

前期基本計画

「おだわら21世紀プラン」では、「二十一世紀へ向かう時代潮流を」「高齢社会の到来」「国際交流の拡大」「高度情報化の進展」「女性の社会参加の拡大」「文化的意識の高まり」の五つと「二十一世紀のまちづくり」の方向性を示し、これらに本町及び周辺市町村とあわせて課題を展望しています。

この進展により、世界平和への地域からの貢献や、世界平和から地域社会づくりが必要となつてい

産業の高度化・高付加価値化ソフト化・サービス化、ネットワー化による、いわゆる先進

経済活動の発展を映して、人々のライフスタイルが大きく変化していることから、小田原

多くの人が人生80年を生きる時代を迎え、老年人口が増加する

東京一極集中の勢が強くなり、地価の高騰、住宅・通勤等の居住環境、都市環境の悪化など、

市民参加

地域プランの策定

計画策定に参加を

これまでにお示しした内容は、「おだわら21世紀プラン」の主旨を踏まえ、21世紀へ向けた本市の主要課題を踏まえて、平成5年度から平成15年度までの8年間に市対応すべき施策の方向等についての考えです。

これらの内容については、市民会でのご意見・ご提案を踏まえ、今後さらに検討を加えていくものです。

是非、みなさんの積極的な参加をお願いします。

特性を生かした計画を

後期基本計画の策定にあたっては、市域全体について定めた「基本構想」・「基本計画」・「東地計画」の三層計画のほか、市域を六つの「地域ブロック」に分け、それぞれの地域の将来像・地域の方向を示す「地域別計画」を新たに策定する考えです。

また、市民のみならず行政とがそれぞれの役割を認識し、お互いの信頼関係を共に築き上げていくことによって進められていくものです。

また、そのための計画は、全市的にとらえるだけでなく、市民のみならず、住むそれぞれの地域に根差した地域づくりの方向性と整合したものでなければなりません。

そこで、平成元年に市民のみならずのご意見をお聞きし、地域別の将来イメージという形でまとめた「地域プラン(おだわら)の地域ブロック」から、六つの「将来イメージ」を下記に示しましたので、このイメージを表現していく方向のご意見・ご提案をいただきたいと思えます。



富水・桜井地域

緑豊かな田園風景の地として清らかな川や緑豊かな田園風景を守り育てながら、都市機能が整備された活力とゆとりが感じられる地域の形成を目指します。

川東・北部地域

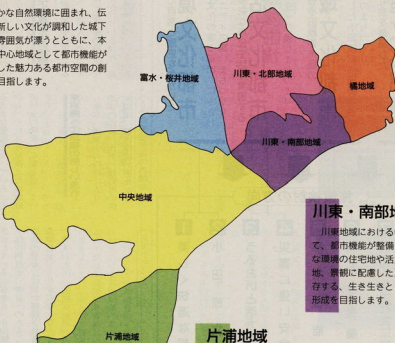
田園風景や豊かな丘陵の緑と良好な住宅地。そして公園がなく景観に意を配した工業地帯とが調和した、のどかでないというおおいが感じられる地域の形成を目指します。

橘地域

豊かな緑の中に生産環境と住環境が整備され、コミュニティ活動が活発に行われ、のどかな田園風景に新しい町並みが溶け合った明るく温かみのある地域の形成を目指します。

中央地域

豊かな自然環境に囲まれ、伝統と新しい文化が調和した城下町の雰囲気ととも、本市の中心地域として都市機能が充実した魅力ある都市空間の創出を目指します。



片浦地域

豊かな自然環境を保全しながらリゾートの活用を図るため、地域を開発整備するとともに、良好な地域の人間関係をもち続けることによって、うるおいとやすらぎを求める人々が、訪れ、居住する地域の形成を目指します。

川東・南部地域

川東地域における中心地として、都市機能が整備され、良好な環境の住宅地や活力ある商業地、景観に配慮した工業地帯が共存する、生き生きとした地域の形成を目指します。

みなさんの意見・提案を募集

市民と市の共同作品として、後期基本計画を策定するための「おだわら21世紀プラン」は、小田原のみならず、市域のあらゆる地域にわたってご意見・ご提案をお聞きしたいと考えています。

そこで、後期基本計画策定に関するみなさんのご意見・ご提案については、市民会等でお聞きしたいと考えています。

是非、みなさんの積極的な参加をお願いします。

当日、参加者のみなさんにお配りするパンフレットにこのように記載してあります。

●総合計画についての問い合わせ先
 ・企画調整部・企画政策課
 ・企画政策係
 ☎0212-233-1254

●募集期間
 平成3年9月15日(日)～10月15日(日)まで